

建設予定地 11月3日、佐賀県伊万里市

目指せイクボス

わたしらしく

午後5時半、仕事を切り上げ、3歳の長男を迎えに保育所へ向かう。保育施設を運営するオスカンパニー（福岡市）の小津智一社長（42）。社員でもある妻と共働きで、3回に1回は送り迎えを担当している。

食事作り以外の家事は分担。毎朝午前4時に起床、子供2人が起きてくる6時半までに皿洗いとデスクワークをこなす。波が立つ日は自宅前の海でサーフィンも楽しむ。「働きづめだった父親に反発している面もある」という。

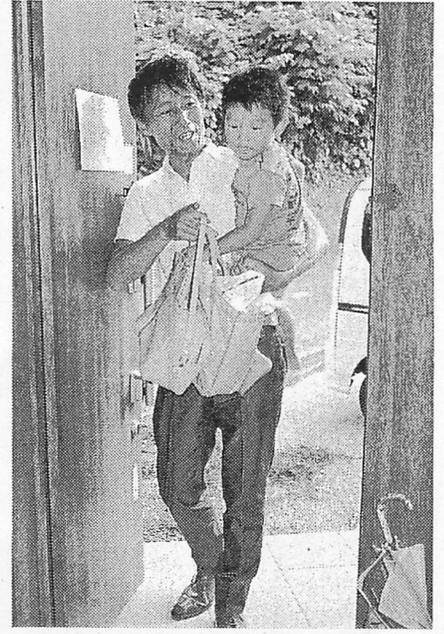
以前は化学メーカーの社員。転勤で福岡市にきたが、定年まで転勤を繰り返す生活に疑問を感じ35歳で起業した。現在は社員7人、従業員約60人で事業所内の託児所やイベント会場での託児を手掛ける。

当初は残業もあった。責任感が強い人ほど仕事を抱え込む。後ろめたさから他人に仕事を回せない人もいた。だが「保育は人。保育士の状態がサービスに直結する」。管理業務のある社

目指す。人へ上る見通し。

有言実行 上司自身が楽しんで

⑥



長男を連れて帰宅する小津智一社長。「育児中の従業員の気持ちに寄り添える」と言う

員は時間給社員に現場を任せ、就業時間内に業務をこなすよう指示。「会社は残業を求めている」とのメッセージを浸透させた。

現在は全員がほぼ定時に帰宅。有給休暇は4月に取得計画を提出させて消化を進める。「残業しない前提で事業計画を組めば実現できる。ワークライフバランスを考えることは会社の生き残り戦略でもある」

◇ NPO法人「ファザリング・ジャパン」（東京）を創設した安藤哲也さん（51）は、企業や自治体でイクボスに関する講演活動を続ける。強調しているのは「上司自身が変わること」だ。

◆ 楽天（同）の部長時代、フルタイムで働く妻と3人の子供を

ど自然災害のリスクが少ないことを挙げているという。

同社は将来的に出力20万kwまで施設を拡大したい意向といい、その場合、投資額は約400億円規模に、新規雇用もさらに増えると思われる。同課は「地元からの雇用とともに、プラント建設への地元企業参入で市経済は活気づく」と期待している。（杉野斗志彦）

ROOM子会社、筑後市で

半導体工場 イチゴ生産

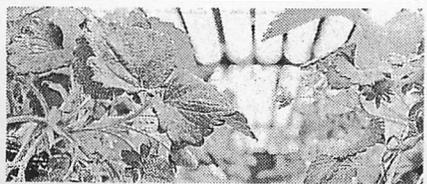
予定で、年間14・8トの収穫を目指す。

チリやほこりなどを取り除いたクリーンルームの約330平方メートルを植物工場に改装。病害虫の侵入を防ぐことができ、屋外での栽培に比べて農薬の使用回数を10分の1以下に抑えられるという。

半導体製造のROOM（京都）は3日、子会社ROOM・アポロ（福岡県広川町）の長浜工場（同県筑後市）の一部を植物工場に改装してイチゴの生産を始めたこと発表した。写真はROOM提供。施設は今月末に完成



旅行代理店の関係者ら約400人が集まった全国宣伝販売促進会議。市町村ブースでは商談会も開かれた。11月3日午後、大分県別府市



生産を始めておは年末から収穫み。ROOMは、イチゴの売上高目は明らかにして。同社は「イチゴ販売が軌道に乗る農産物や海外でも検討したい」

資源をPRする「ネーションキャ（DC）」が来年大分県で開催に、全国の旅行に観光素材やコ紹介する「全国進会議」が3日市で始まった。県外から旅行業0人が集まり、県の魅力の一端DCは197